

CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高洲3丁目ビル計画 新築工	階数	地上6F
建設地	千葉県千葉市美浜区高洲三丁目20	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2023年2月1日
敷地面積	661 m ²	作成者	岩城 正一
建築面積	517 m ²	確認日	2023年2月1日
延床面積	2,440 m ²	確認者	岩城 正一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 96%
③上記+②以外の 96%
④上記+ 96%

(kg-CO₂/年・m²) 0 46 92 138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健)	2.1
4(教育)	1.6
5(ジェンダー)	1.3
6(水・衛生)	1.9
7(エネルギー)	1.5
8(経済・雇用)	1.8
9(イノベーション)	1.6
11(都市)	1.5
12(生産・消費)	1.8
13(気候変動)	1.8
15(陸上資源)	1.1
17(実施手段)	1.2

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	3.4
温熱環境	3.0
光・視環境	3.1
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.1
耐用性	3.1
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8

建物外皮の	4.0
自然エネ	2.2
設備システ	2.5
効率的	2.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	2.8
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.1
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
住宅と非住宅からなる複合用途の建物である。 室内環境は遮音性や採光の確保、化学汚染物質の抑制など入居者にとって快適な環境となるよう計画した。 建物は省エネ性や耐用年数の長い材料を使用するなど、環境負荷に配慮を行った計画とした。	特になし。
Q1 室内環境 開口部はT-2を採用し室内の遮音性を高める計画とした。 十分な開口を設け採光を確保し、日射の制御は底やカーテン等で行えるよう計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には可能な限り緑化を行い、敷地内の温熱環境緩和を図った。
LR1 エネルギー 住宅部分は断熱等級4相当を確保するとともにLED照明を採用し、省エネ性に配慮した計画とした。	LR3 敷地外環境 省エネ性を高めることで運用時のCO ₂ 排出量を抑え、ライフサイクルCO ₂ を96%とした。
Q2 サービス性能 外壁や配管には耐用年数が長いものを採用することで建物の長寿命化や維持管理性に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル 節水型機器や水栓を採用し、水資源の保護を図った。 解体時等のリサイクル推進のため、分別が容易となるような仕上構成とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される